

富士見市公共施設 個別施設計画 第1期実行計画 (案)



令和4年3月 策定

令和8年3月 改訂

目次

はじめに.....	2
第1章 公共施設個別施設計画第1期実行計画とは.....	3
第2章 公共施設個別施設計画第1期実行計画	4
1 対策ごとの基本的な考え方	4
(1) 対策	4
(2) 事前検討	5
2 施設類型ごとの対策実施スケジュール	6
(1) 学校教育施設	7
(2) 生涯学習施設	9
(3) 福祉施設	11
(4) 行政施設・その他施設.....	12
3 再編プラン.....	14
(1) 再編とは.....	14
(2) 再編プランとは	14
(3) 富士見未来コネクトプロジェクト（みらいCプロジェクト）	16
①再編プランNo.1 教育委員会事務局スペースの事業スペースへの転用	17
②再編プランNo.2 第三・第五保育所の統合整備	20
③再編プランNo.3 健康増進センター敷地の利活用.....	24
④再編プランNo.4 健康増進センター体育館機能の集約の検討	26
(4) 再編プロジェクト以外の再編プラン	28
①再編プランNo.5 老人福祉センターの在り方の検討.....	28
②再編プランNo.6 保育機能（第二保育所）の民間移行の検討	30
③再編プランNo.7 学校の再編（水谷小学校・水谷東小学校エリア）の検討	32
④再編プランNo.8 市立集会所の在り方の検討	35
⑤再編プランNo.9 出張所の在り方の検討	38
⑥再編プランNo.10 文化財整理室の再編の検討.....	41
4 施設の状況に応じた考え方	43
(1) 新規施設等	43
(2) 事業を完了する施設	43
(3) 借地借家等の施設	43
(4) 大規模な設備	43

はじめに

本市の公共施設の多くは、昭和 40 年代から 50 年代の人口急増期に整備されたものであり、間もなく更新（建替え）時期を迎えます。

一方で、本市の人口は近年も増加傾向にあるものの、長期的には人口減少や少子高齢化が進行し、市税等の自主財源の減少や高齢化による社会保障費の増加等が見込まれます。

このため、今後の公共施設の修繕や更新（建替え）に必要な財源の確保が大きな課題となっています。さらに、昨今の物価高騰や労務単価の上昇なども重なり、公共施設を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

こうした状況を踏まえ、市民ニーズや財政状況等の変化に対応しながら、公共施設の施設保有量の最適化を図り、限られた財源の中で、安全な施設を提供し続けるとともに、費用負担の平準化にも取り組んでいく必要があります。

そのためには、施設のこれまでの役割や位置づけを踏まえつつ、今後求められる機能を的確に把握し、それに十分対応できる施設を維持・確保していくことが重要です。

今回の「富士見市公共施設個別施設計画第 1 期実行計画」の見直しにあたっては、施設の再編に関する取組内容を「再編プラン」として新たに追加し、安全で持続可能な施設運営の実現に向け、着実に取組を進められるよう内容を整理しました。

なお、計画の推進にあたっては、市民生活や今後のライフスタイル、まちづくり、コミュニティ形成などに大きな影響を及ぼすことを踏まえ、市民の皆様の理解と協力を得ながら進めてまいります。

第 1 章 公共施設個別施設計画第 1 期実行計画とは

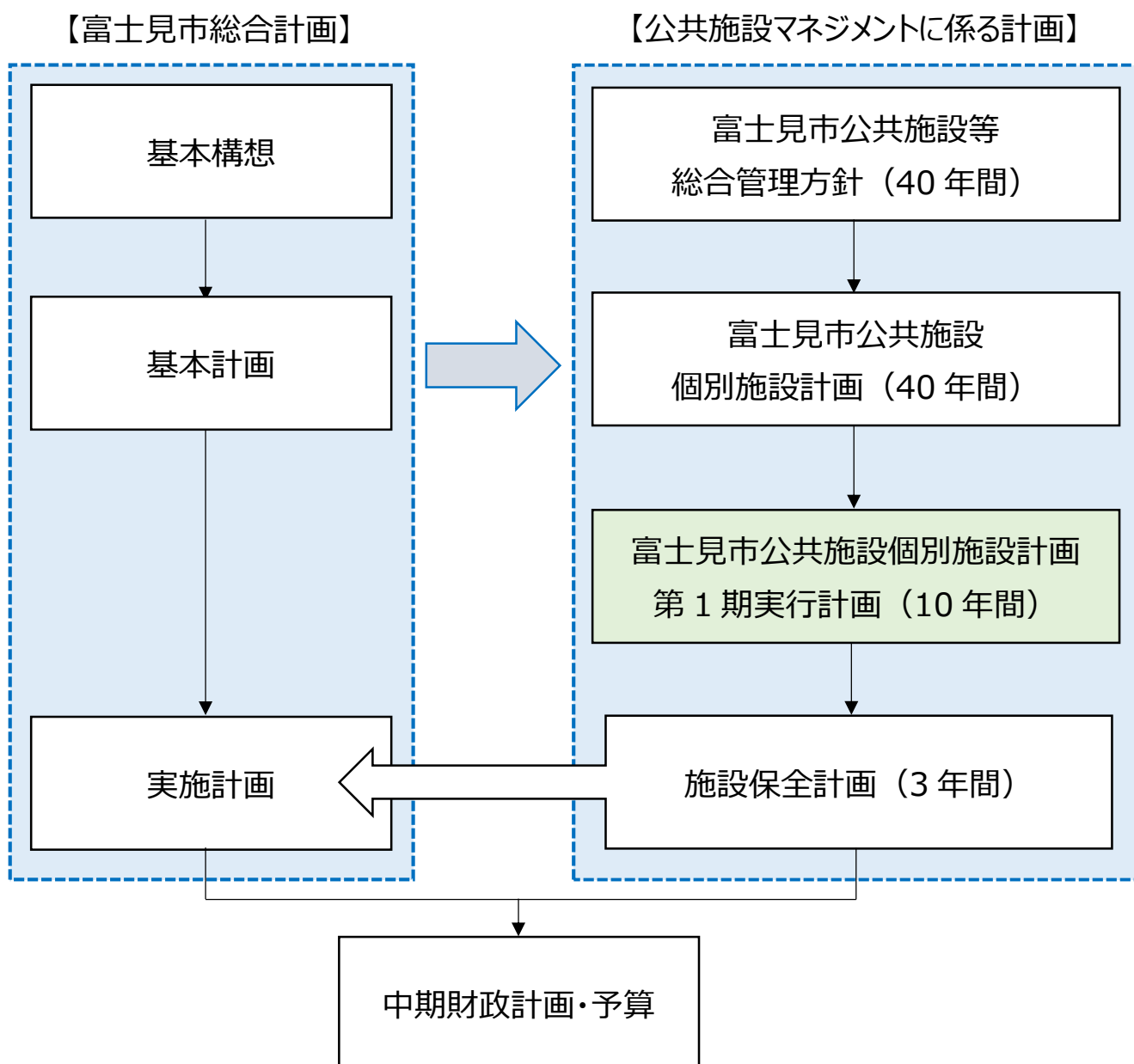
富士見市公共施設個別施設計画第 1 期実行計画（以下「本計画」という。）は、令和 3 年 3 月に策定した富士見市公共施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）で定めた対策内容と実施時期について、今後 10 年間のスケジュール（第 1 期計画では、令和 3 年度から令和 12 年度までの 10 年間）を定め、個別施設計画の推進を図るための計画です。

本計画は、個別施設計画（P.70）で示している「再編等実行計画」に該当します。

本計画の推進により、公共施設マネジメントの目的である安全な施設の提供と施設保有量の最適化を実現し、もって市民サービスの向上と財政負担の軽減を図ります。

また、この計画内容の実施にあたっては、施設の状態や社会情勢、財政状況などを踏まえ、改めて施設保全計画において判断していきます。

図 富士見市公共施設個別施設計画第 1 期実行計画の位置づけ



第 2 章 公共施設個別施設計画第 1 期実行計画

1 対策ごとの基本的な考え方

本計画に記載している対策及び事前検討の基本的な考え方は以下のとおりです。

(1) 対 策

① 大規模改修工事

建物の経年劣化が著しく進行する前に対策を講じることで、その後の突発的な事故や多額の修繕費用の発生を防ぐことを予防保全といいます。大規模改修工事は、予防保全の考え方に基づき、建設後または改修工事後約 20 年が経過したタイミングで実施されます。主に、建物の安全性を確保し、過度な修繕費用を防ぐことが目的であり、工事内容としては原状回復が中心となります。

② 長寿命化改修工事

建物を 80 年使用することを目標に、建設後 40 年を目途に行う改修工事です。大規模改修工事における原状回復に加え、耐久性向上や長期的な使用を見据えた性能改善を図ります。また、長寿命化改修工事を実施する施設は、個別施設計画に基づき、長期間安全に使用できる施設を対象としています。

③ 再編を伴う改修工事等

再編の具体的方策には、同一用途の施設を統合する集約化や異なる用途の施設を統合する複合化、施設の用途を変更する転用、さらには PPP／PFI の活用など、さまざまな手段があります。改修工事や建替えに合わせ、施設規模の縮小を基本に、将来の人口規模や利用者の需要を考慮して再編を伴う改修工事等を行います。

(2) 事前検討

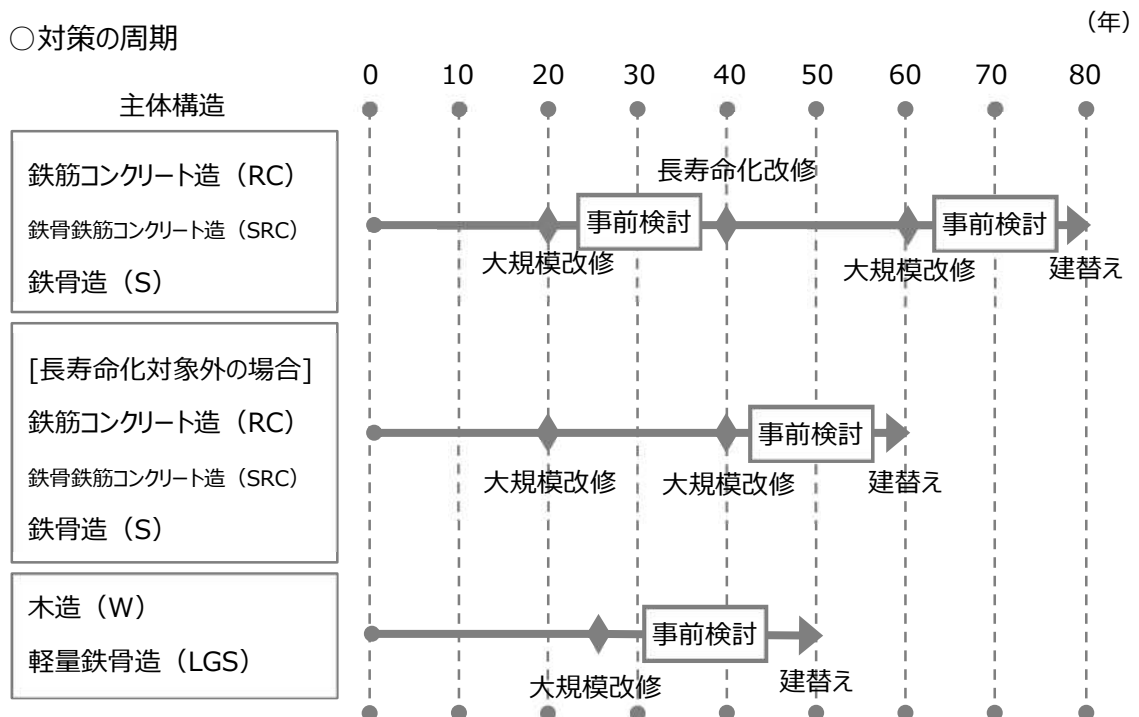
持続可能な公共施設運営の実現のため、多額の費用を要する長寿命化改修工事や再編を伴う改修工事等の実施に先立ち、今後の施設の在り方を見据え、その方策について事前に検討を行うこととします。

また、施設ごとに実現可能な再編方策や老朽化の程度、利用状況などが異なるため、それぞれの施設に応じて適切な時期に検討が完了するよう、検討期間を設定します。

【参考】対策の周期について

各対策の実施時期は、構造別目標使用年数を踏まえ、次のとおりです。

○対策の周期



○構造別目標使用年数（個別施設計画 P.30 より抜粋）

主体構造	目標使用年数	標準使用年数
鉄筋コンクリート造 (RC) 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 鉄骨造 (S)	80 年 (長寿命化改修実施により)	60 年
木造 (W) 軽量鉄骨造 (LGS)	50 年	40 年

2 施設類型ごとの対策実施スケジュール

7 ページ以降に、個別施設計画における施設類型ごとの対策実施スケジュールを示します。

このスケジュールは、令和 3 年度に、施設の劣化状況、築年数、改修履歴、実施計画（令和 4～6 年度）などを基に作成したスケジュールを基礎とし、令和 7 年度までの対策の進捗を踏まえ、財政負担の軽減や施設更新量の平準化を図るため、令和 7 年度に中間見直しを行い、作成したものです。

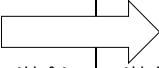

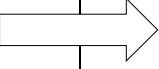
今後は、本計画に基づき、案件ごとに実施内容、実施時期、実施手法等を改めて整理し、財政状況等を踏まえながら、実施計画（施設保全計画）を策定していきます。

(1) 学校教育施設





① 大規模改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
西中学校 (体育館)	大規模 改修					
富士見台中学校 (校舎)	設 計		大規模 改修			
ふじみ野小学校 (校舎・体育館)			設 計		大規模 改修 (校舎)	主に屋根・外壁の改修
つるせ台小学校 (校舎・体育館)					設 計	

② 長寿命化改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
水谷中学校 (校舎・体育館)	長寿命 化改修 (校舎)					
勝瀬中学校 (校舎・体育館)	長寿命 化改修 (校舎)	 (校舎)	 (校舎)			
みずほ台小学校 (校舎・体育館)	事前 検討			設 計		詳細は再編プランNo.7 参照 事前検討の結果に応じて、 時期などを調整します。

③ 再編を伴う改修工事等の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
学校給食センター	事前 検討					詳細は再編プランNo.3 参照
水谷小学校 (校舎・体育館)	事前 検討					詳細は再編プランNo.7 参照 みずほ台小学校の長寿命化改修 工事については、事前検討の結果 に応じて、時期などを調整します。
水谷東小学校 (校舎・体育館)						
【再掲】 みずほ台小学校 (校舎・体育館)						
鶴瀬小学校 (校舎・体育館)				設 計 (長寿 命化)		
関沢小学校 (校舎・体育館)				事前 検討	 2期継続	第2期中の再編プラン掲載を検討
本郷中学校 (校舎・体育館)				事前 検討	 2期継続	第2期中の再編プラン掲載を検討

(2) 生涯学習施設






① 大規模改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備考
キラリふじみ	大規模改修					
水子貝塚資料館 (管理棟)	設計	大規模改修				
南畑ふれあいプラザ		設計	大規模改修			
文化財収蔵庫			設計	大規模改修		詳細は再編プランNo. 10 参照
難波田城資料館					設計	

② 長寿命化改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備考
みずほ台コミュニティセンター	長寿命化改修					
針ヶ谷コミュニティセンター	設計	長寿命化改修				
市民総合体育館 (管理棟)	事前検討		設計		長寿命化改修	詳細は再編プランNo.4 参照 事前検討の結果に応じて、時期などを調整します。
水子貝塚資料館 (展示館)				事前検討	 2期継続	

③ 再編を伴う改修工事等の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
中央図書館 (2階部分)	事前 検討		設 計		転 用	詳細は再編プランNo.1 参照
市立集会所 (市内 28 か所)	事前 検討					詳細は再編プランNo.8 参照
文化財整理室				事前 検討		詳細は再編プランNo.10 参照
南畑公民館						
水谷公民館				事前 検討	 2期継続	第2期中の再編プラン掲載を検討
鶴瀬公民館				事前 検討	 2期継続	第2期中の再編プラン掲載を検討

(3) 福祉施設

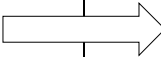
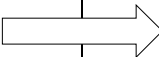

① 大規模改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
市民福祉活動センター						経過観察
勝瀬第 1 放課後児童クラブ						修繕で対応
シルバー人材センターワークプラザ	大規模改修					主に屋根・外壁の改修
諏訪第 1 放課後児童クラブ	大規模改修					
第一保育所		設 計	大規模改修			
ふじみ野第 1・第 3 放課後児童クラブ			設 計	大規模改修		
水谷第 1 放課後児童クラブ				設 計	大規模改修	

② 長寿命化改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

該当施設なし

③ 再編を伴う改修工事等の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
老人福祉センター	事前検討					詳細は再編プランNo. 5 参照
第二保育所	事前検討					詳細は再編プランNo. 6 参照
第三保育所	利用者説明会	建設工事	供用開始			詳細は再編プランNo. 2 参照
第五保育所						
第四保育所				事前検討	 2 期継続	第 2 期中の再編プラン掲載を検討
第六保育所					事前検討 2 期継続	第 2 期中の再編プラン掲載を検討

(4) 行政施設・その他施設



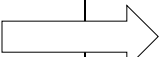
① 大規模改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
鶴瀬駅東口市立自転車駐車場						修繕で対応
みずほ台駅東口市立自転車駐車場						修繕で対応
みずほ台西口市立自転車駐車場						修繕で対応
ぱれっと協倉庫			設 計	大規模改修		
新河岸川水防センター				設 計	大規模改修	

② 長寿命化改修工事の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
ふじみ野駅東口市立自転車駐車場		事前検討	⇒	設 計		
ふじみ野駅西口市立自転車駐車場		事前検討	⇒	設 計		

③ 再編を伴う改修工事等の時期を迎える施設のスケジュール

施設名	R8	R9	R10	R11	R12	備 考
市役所	実施 設計	建設 工事				教育委員会・健康増進センター・子ども未来応援センターとの窓口・執務機能の集約化
中央図書館 (教育委員会機能)						
健康増進センター (窓口・執務スペース)				移転 集約化	廃止	
【再掲】 中央図書館 (2階部分)	事前 検討		設 計		転用	詳細は再編プランNo. 1 参照
健康増進センター (事業スペース)					 移転 複合化	
健康増進センター (敷地)	事前 検討					詳細は再編プランNo. 3 参照
健康増進センター (体育館)	事前 検討				移転 集約化	詳細は再編プランNo. 4 参照 事前検討の結果に応じて、時期などを調整します。
【再掲】 市民総合体育館 (管理棟)			設 計		 長寿命 化改修	
出張所 (市内6か所)			事前 検討			詳細は再編プランNo. 9 参照

3 再編プラン

(1) 再編とは

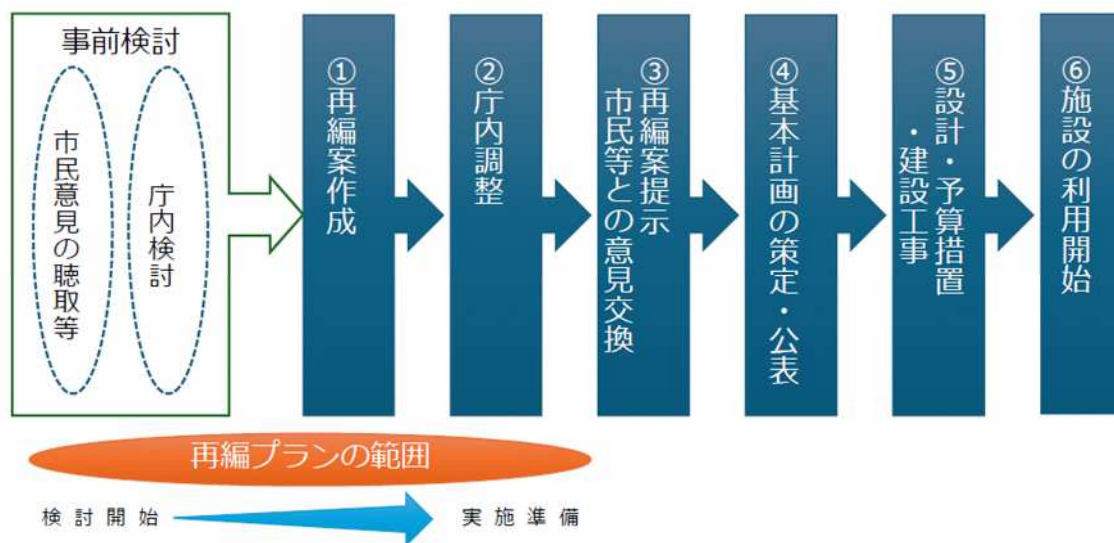
持続可能な施設運営の実現に向け、公共施設の配置や機能、規模、構造等の検証や見直しを行い、建替え・改修・用途変更・統廃合などを通じて、施設全体を最適な形にする取組またはその検討プロセスです。

(2) 再編プランとは

市では、施設保有量の適正化に向け、令和3年度以降、建替え時期を迎える施設を中心に整理を行い、検討期間を設定したうえで、今後の対応について、事前検討を進めてきました。

これまでの検討の結果や進捗を踏まえ、方向性が定まったもの、または今後、方向性の確定に向けて市民意見の聴取等に取り組むものなど、スケジュールを定めて取り組む事業（施設）について、再編プランとして示しています。

【参考】再編プランの位置づけ



富士見市公共施設個別施設計画 図 4-4 再編の手順のイメージより

なお、再編プラン同士に関連性（立地、実施順序、内容）があるものについては、再編プロジェクトとして、取りまとめています。

【参考】再編プロジェクトの構成



【再編プラン一覧表（再掲）】

再編プラン		施設名等	実施年度				
プロジェクト名			R8	R9	R10	R11	R12
富士見 未来コネクト プロジェクト (みらい C プ ロジェクト)	－ 【参照】 富士見市新庁舎建設 基本計画	市役所	実施 設計	建設 工事			
		中央図書館 (教育委員会機能)					
		健康増進センター (窓口・執務スペース)				移転 集約化	廃止
	No. 1 教育委員会事務局スペースの 事業スペースへの転用	中央図書館 (２階部分)	事前 検討		設 計		転用 
		健康増進センター (事業スペース)					移転 複合化
	No. 2 第三・第五保育所の統合整備	第三保育所	利用者 説明会	建設 工事	供用 開始		
		第五保育所					
	No. 3 健康増進センター敷地の利活用	健康増進センター(敷地)	事前 検討				
		学校給食センター					
	No. 4 健康増進センター体育館機能 の集約の検討 ※R10以降の予定は、事前検討 で整理	健康増進センター (体育館)	事前 検討				移転 集約化
	市民総合体育館 (管理棟)			設 計		↓ 長寿命化 改修	
No. 5 老人福祉センターの在り方の検討		老人福祉センター	事前 検討				
No. 6 保育機能（第二保育所）の民間移行の検討		第二保育所	事前 検討				
No. 7 学校の再編（水谷小学校・水谷東小学校等 エリア）の検討 ※R11以降の予定は、事前検討で整理		水谷小学校 (校舎・体育館)	事前 検討				
	水谷東小学校 (校舎・体育館)						
	みずほ台小学校 (校舎・体育館)				設 計 (長寿 命化)		
No. 8 市立集会所の在り方の検討		市立集会所 (市内 28 か所)	事前 検討				
No. 9 出張所の在り方の検討		出張所 (市内 6 か所)			事前 検討		
No. 10 文化財整理室の再編の検討		文化財整理室				事前 検討	
	南畑公民館						
	文化財収蔵庫			設 計	大規模 改修		

(3) 富士見未来コネクトプロジェクト(みらいCプロジェクト)

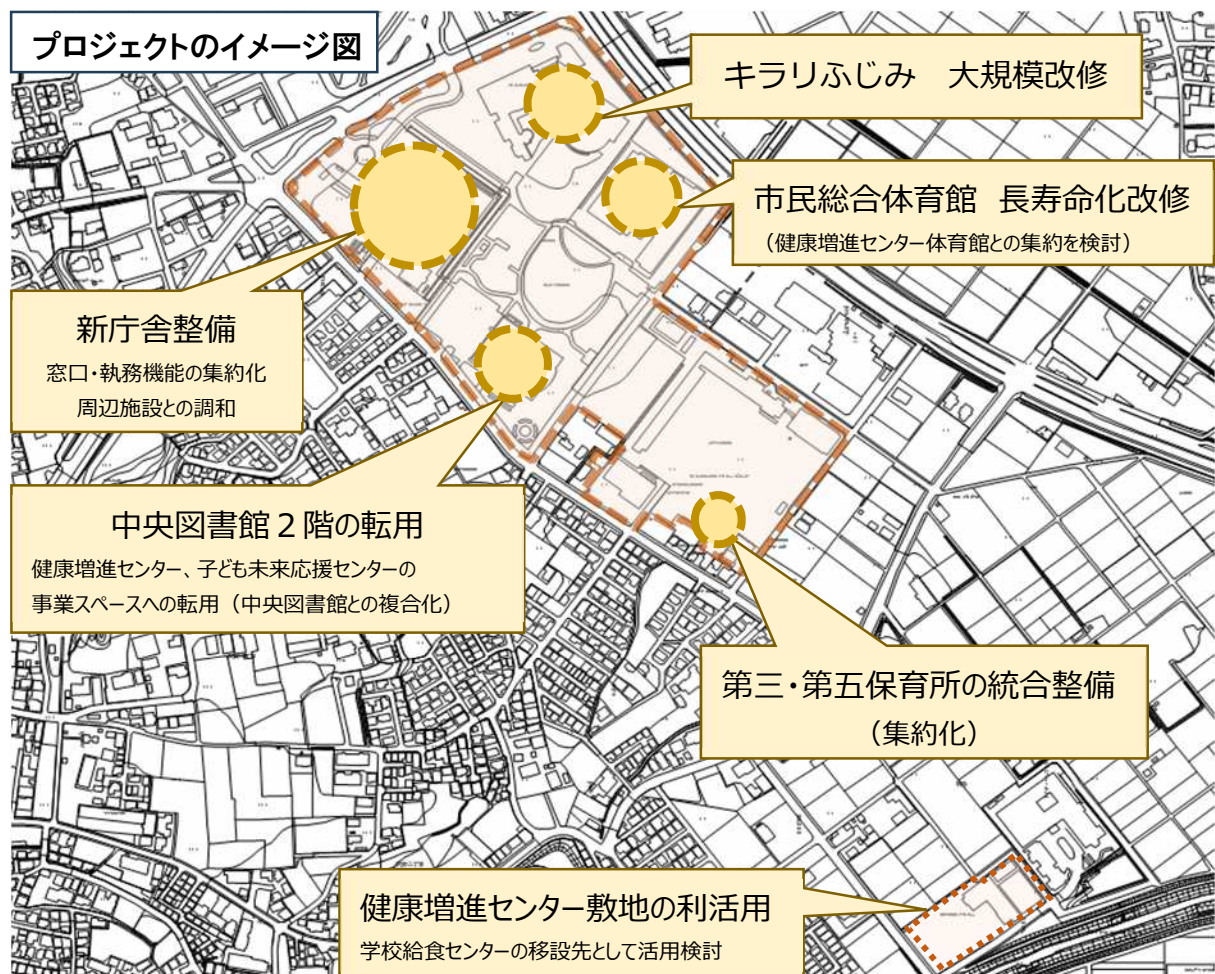
富士見市役所本庁舎は、竣工から 50 年以上が経過しており、建物の劣化調査や耐震性調査の結果、防災拠点として求められる耐震性能を満たしていないことが判明しました。この状況を踏まえ、市では現在、建替えに向けた取組を進めています。

新庁舎の建設地となる現庁舎敷地の周辺は、市制発足以来、文化の杜公園、キラリふじみ、市民総合体育館、中央図書館、諏訪小学校、第五保育所などの公共施設を集積させ、市民のコミュニティ形成の核となるよう整備を進めてきました。

今回の新庁舎整備にあたり、教育委員会(中央図書館 2 階)、健康増進センター及び子ども未来応援センターの窓口・執務機能を新庁舎へ集約することを予定しているほか、第五保育所が更新時期を迎えていることなどから、改めてエリア全体における公共施設の再配置を検討する必要があります。

このため、エリア全体の公共施設再配置について『富士見未来コネクトプロジェクト(みらい C プロジェクト)』として整理し、施設ごとの再編対応策について再編プランとして整理します。

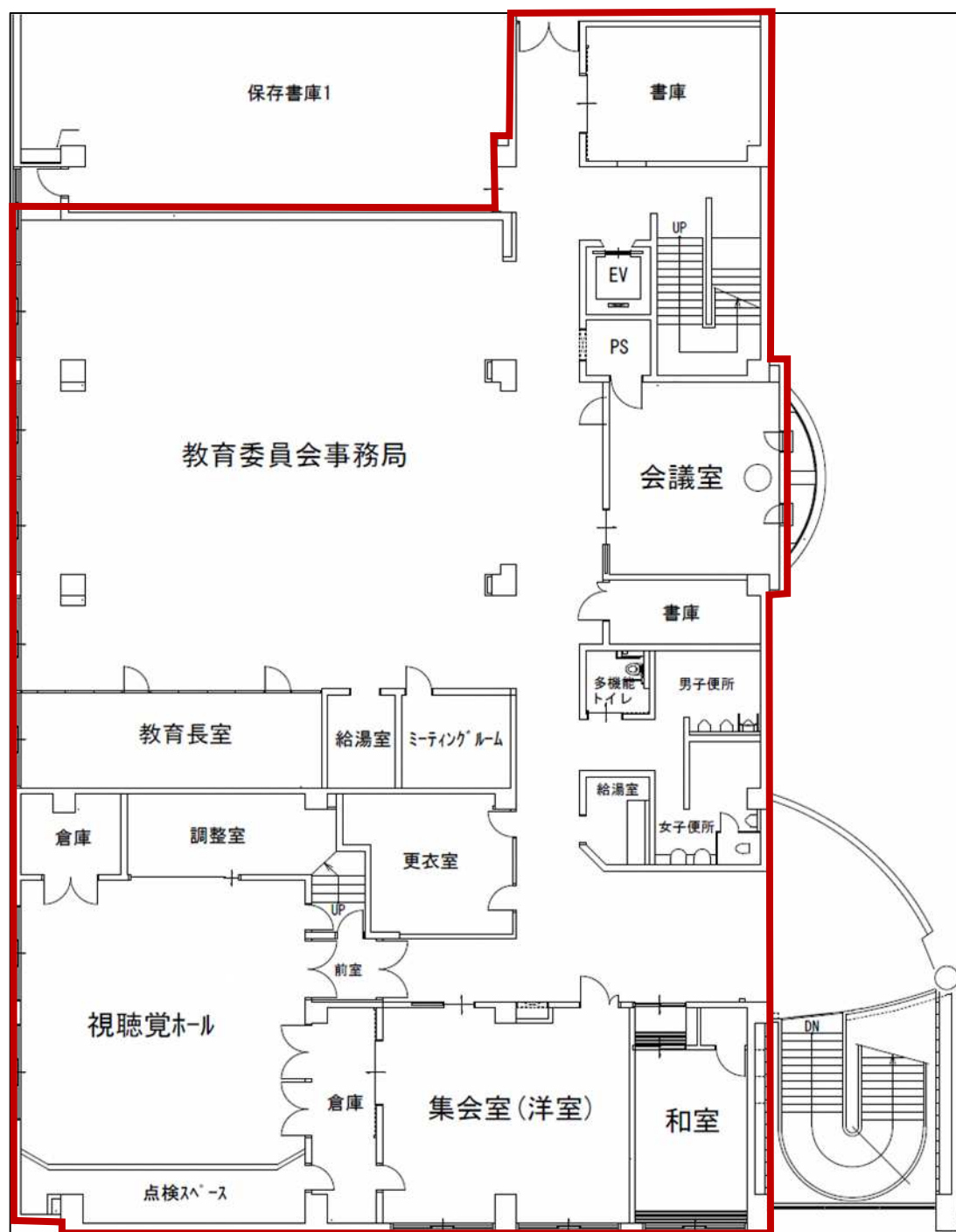
このプロジェクトを推進し、多くの市民が集まり、文化・芸術などを通じて交流できる拠点の再形成により、理想の“未来”の実現に向けた取組を進めます。



①再編プランNo.1 教育委員会事務局スペースの事業スペースへの転用


概要	<p>教育委員会(中央図書館 2 階)、健康増進センター及び子ども未来応援センターの窓口・執務機能については、新庁舎へ移転（集約化）することを予定しています。</p> <p>併せて、健康増進センター等の事業スペース（検診やフレイル予防事業等を実施するスペース）については、新庁舎との隣接整備による連携強化や利便性の向上に加え、整備費用や将来の費用負担の縮減を図るため、現在の教育委員会事務局のスペース等（中央図書館 2 階）を転用することで整備します（中央図書館との複合化）。</p> <p>これにより、中央図書館に子育て世代から高齢者まで幅広い世代の市民を誘導するとともに、新たな連携事業の実施など、周辺公共施設との一体的な利用の促進を図り、エリア全体の賑わいの創出を目指します。</p>																		
対象施設	<table><tr><th></th><th>建築年月日</th><th>経過年数 (R8.1 時点)</th><th>標準 使用年数</th><th>構造</th><th>延床面積</th></tr><tr><td>中央図書館 (2 階部分)</td><td>H5.12.20</td><td>32 年</td><td>60 年</td><td>SRC 造</td><td>約 800 m²</td></tr><tr><td>健康増進センター (事業スペース)</td><td>S50.12.1</td><td>50 年</td><td>60 年</td><td>RC 造</td><td>約 1,300 m²</td></tr></table> <p>【施設の状況】</p> <p>○中央図書館</p> <p>経過年数からみて、長期的に利用可能です。なお、長期的に利用するためには、今後、屋上防水を中心とした定期改修が必要です。</p> <p>○健康増進センター</p> <p>窓口の集約化による市民サービス向上を目的に、窓口・執務機能を新庁舎へ集約することを予定しています。また、近く標準使用年数を迎えるため、長期的な利用には課題があります。</p>		建築年月日	経過年数 (R8.1 時点)	標準 使用年数	構造	延床面積	中央図書館 (2 階部分)	H5.12.20	32 年	60 年	SRC 造	約 800 m ²	健康増進センター (事業スペース)	S50.12.1	50 年	60 年	RC 造	約 1,300 m ²
	建築年月日	経過年数 (R8.1 時点)	標準 使用年数	構造	延床面積														
中央図書館 (2 階部分)	H5.12.20	32 年	60 年	SRC 造	約 800 m ²														
健康増進センター (事業スペース)	S50.12.1	50 年	60 年	RC 造	約 1,300 m ²														

平面図（中央図書館2階）



対象範囲：

面積：約800㎡

スケジュール						
	施設	R8	R9	R10	R11	R12
	中央図書館 (2階部分)	レイアウト 案作成	内容 調整	設 計	内容 確認	改修・ 転用 
再編効果	健康増進センター (事業スペース)					移転・ 複合化 (廃止)
	※詳細費用はR10年度予定の設計業務にて算出します。					
再編効果	<p>●機能向上効果</p> <p>① 交通利便性の向上（高齢者、子育て世代等）</p> <p>② 周辺公共施設の利用促進</p> <p>③ 近隣公共施設との連携強化（中央図書館、文化の杜公園、新庁舎など）</p>					
	<p>●経費削減効果</p> <p>当該再編により、健康増進センターの維持管理費の削減が可能であるほか、単純建替えと比べ、既存施設を利用することで大幅な経費削減が可能となります。</p>					
	<p>●施設総量の適正化の効果</p> <p>健康増進センター（事業スペース）約 1,300 m²縮減</p>					

②再編プランNo.2 第三・第五保育所の統合整備

概要

諏訪小学校敷地の一部を活用し、第三保育所・第五保育所を集約した公立保育所を整備します。

整備地については、小学校、放課後児童クラブ、児童館に隣接していることから、これら既存の子育て関連施設と連携強化を図り、子育て支援の充実を目指します。

また、保育施設単体としても、保育資源を集約することで基幹型保育施設（P.23）として、民間保育施設や幼稚園等との連携・交流機能を強化するとともに、障がい児・医療的ケア児の支援機能の拡充を目指します。

なお、両保育所の全ての在籍児童については、統合する保育所で継続して受け入れるとともに、集約化に先立ち、両保育所の交流機会を設けるなど、在籍児童に対する十分なサポートを行います。

対象施設

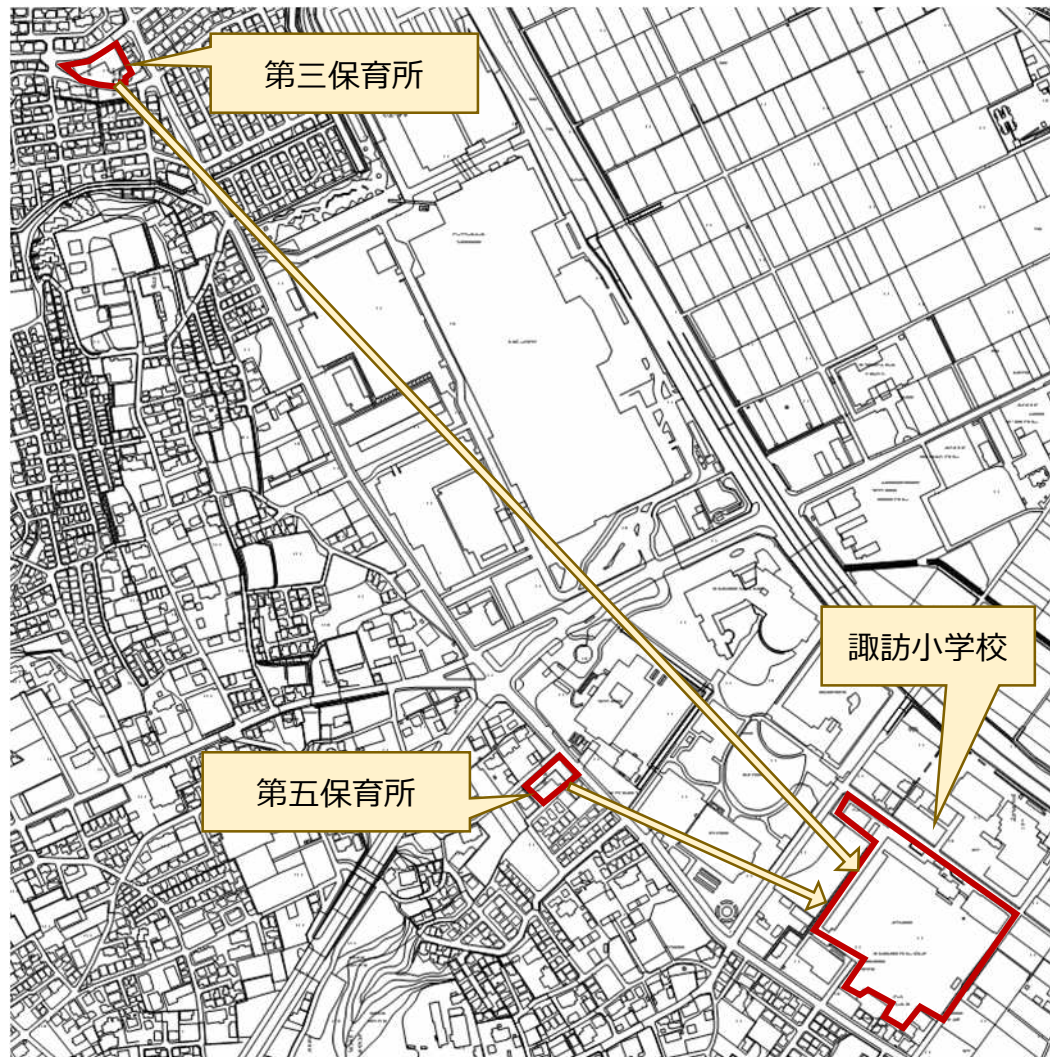
施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
第三保育所	S48.3.30	52年	40年	LGS造	603㎡
第五保育所	S49.5.1	51年	40年	LGS造	482㎡

【施設の状況】

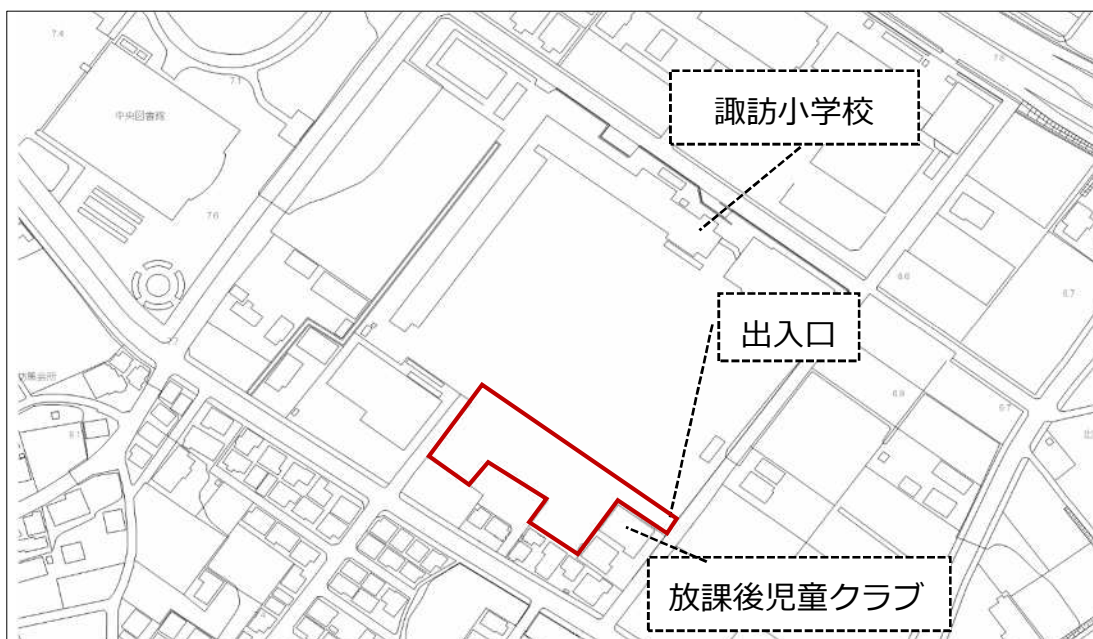
両保育所ともに、建設からの経過年数が標準使用年数を超過しています。老朽化が進行し、設備の劣化や外壁の亀裂等が発生しており、更新の時期を迎えています。

また、施設の更新にあたっては、保育所は常時運営が必要な施設であるため、現敷地での建替えには課題があり、移転が必要です。

案内図



敷地活用のイメージ（案）



スケジュール

施設	R8		R9	R10
	(上期)	(下期)		春頃
統合保育所		事業者 選定	建設 工事	供用 開始
第三保育所	利用者 説明会		説明会 (工事関連)	<div>↑</div> 集約化 (廃止)
第五保育所				

再編効果

●機能向上効果

① 近隣公共施設との連携（小学校、放課後児童クラブ、児童館など）
 ② 施設更新による、安全で快適な環境の提供
 ③ 民間保育施設等との連携・交流機能の強化
 ④ 障がい児・医療的ケア児の支援機能の拡充
 ⑤ 敷地が広くなることでの機能向上（広い園庭、屋内ホールなど）

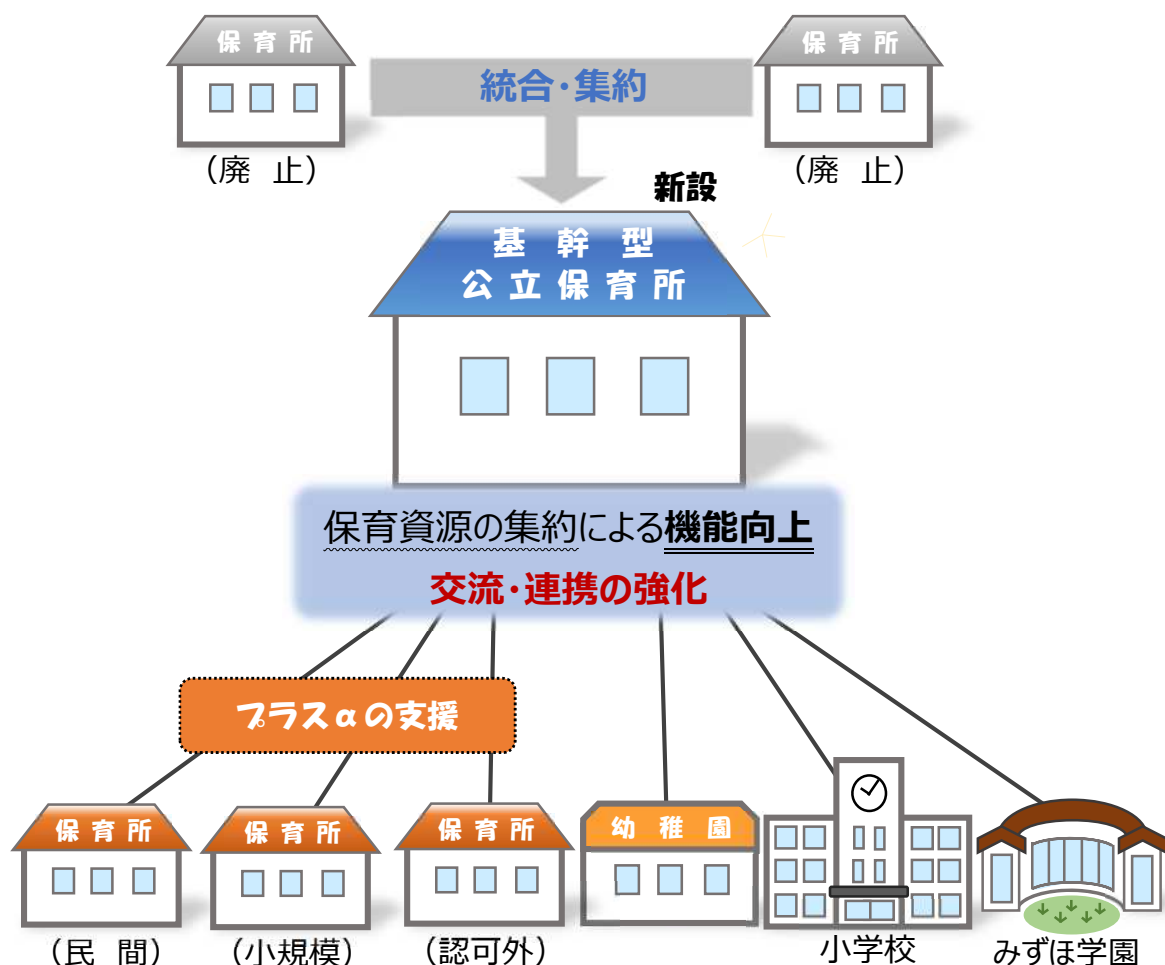
●経費削減効果

土地建物の借地借家費用の削減のほか、統合による運営コストの縮減

●施設総量の適正化の効果

施設規模を約 120 m²縮減

(参考) 基幹型保育所への移行・再編イメージ



基幹型公立保育所の機能イメージ

- ・保育士等の専門性を活かした子ども・子育て支援機能
⇒子育てに対する不安解消相談や地域交流事業の実施（あそぼう会等）
- ・医療的ケア児の受け入れ（看護師の常時配置）
- ・こども誰でも通園制度の実施
- ・一時預かり事業の実施
- ・特別な配慮が必要な子どもの保育（みずほ学園との連携）
- ・民間保育施設等との情報共有・連携
- ・経験豊富な保育士等による民間保育施設等への支援（+α）
- ・保育士のスキルアップ研修の実施（+α）
- ・民間保育施設を含めた保育士の交流促進（+α）

③再編プラン№3 健康増進センター敷地の利活用

概要

新庁舎周辺に健康増進センターの機能が移転された場合、健康増進センターが間もなく標準使用年数を迎えることを踏まえ、施設を廃止することとします。

これに伴い、健康増進センター跡地については、移設を中心に検討を進めている学校給食センターの整備候補地の1つとして利活用の検討を進めます。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
健康増進センター	S50.12.1	50 年	60 年	RC 造	2,826 ㎡
学校給食センター	H3.7.10	34 年	60 年	S 造	2,565 ㎡

【施設の状況】

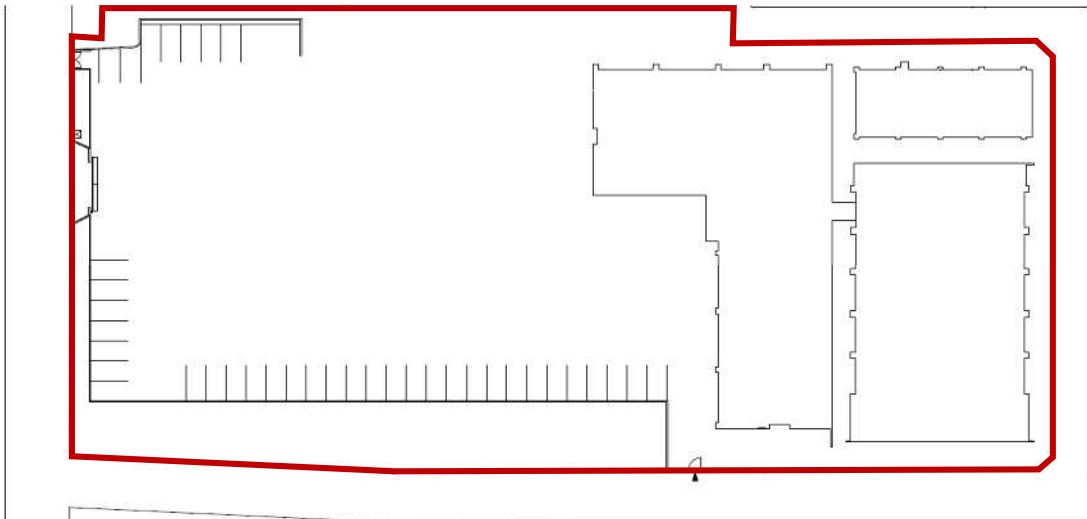
○健康増進センター

窓口の集約化による市民サービス向上を目的に、窓口・執務機能を新庁舎へ集約することを予定しています。また、近く標準使用年数を迎えるため、長期的な利用には課題があります。

○学校給食センター

整備から 30 年以上が経過しており、近い将来、各設備の更新や屋根・外壁の修繕など、大規模な改修工事が必要となります。仮に、大規模な改修工事を実施した場合、給食の停止は避けられません。

このため、給食を停止せずに実施できる方法として、移設を中心に検討を進めています。

現敷地図 (健康増進センター)	 <p>敷地面積：6,189 m²</p>																			
スケジュール	<table><tr><th>施設</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th><th>R13</th></tr><tr><td>健康増進センター (敷地)</td><td colspan="2" rowspan="2">学校給食センターの 移設候補地として、 利活用を検討。 (整備手法含む)</td><td></td><td></td><td>廃止</td><td></td></tr><tr><td>学校給食センター</td><td colspan="4">この期間の事業スケジュールは、 検討結果を踏まえ、別途定めます。</td></tr></table>	施設	R8	R9	R10	R11	R12	R13	健康増進センター (敷地)	学校給食センターの 移設候補地として、 利活用を検討。 (整備手法含む)				廃止		学校給食センター	この期間の事業スケジュールは、 検討結果を踏まえ、別途定めます。			
施設	R8	R9	R10	R11	R12	R13														
健康増進センター (敷地)	学校給食センターの 移設候補地として、 利活用を検討。 (整備手法含む)				廃止															
学校給食センター			この期間の事業スケジュールは、 検討結果を踏まえ、別途定めます。																	
再編効果	<ul style="list-style-type: none">●安全・安心な給食の持続的な提供 給食を停止することなく、施設の対策を実施することが可能となります。●計画的な移設が可能 既存敷地の活用により、新規用地の取得費等が不要となり、財政負担を軽減することが可能となります。●ニーズに対応したサービスの提供 民間による施設整備、管理運営のノウハウの活用（PPP/PFI）により、整備費用の抑制を図りながら、近年増加しているアレルギー対応食の提供や、食育の推進等の実現を目指します。																			

④再編プランNo.4 健康増進センター体育館機能の集約の検討

概要

健康増進センター体育館は、開設当初、健康指導と体力増進を効率的に行うために近接整備しましたが、市民の健康意識の向上や各地域での事業開催などにより、体育館での事業は以前より少なくなっています。

また、新庁舎へ移転後においても、近接に市民総合体育館があることから、健康増進センター体育館機能については、市民総合体育館に集約します。

併せて、市民総合体育館の性能改善が図れるよう、長寿命化に伴う改修内容を検討します。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
健康増進センター (体育館)	S50.12.1	50 年	60 年	S 造	939 m ²
市民総合体育館	H2.9.28	35 年	60 年	RC 造	8,768 m ²

【施設の状況】

○健康増進センター（体育館）

体育館は健康増進センターと同時に整備された施設であり、近く標準使用年数を迎えるため、長期的な利用には課題があります。

○市民総合体育館

経過年数からみて、今後も長期的に利用可能です。なお、長期的に利用するためには、今後、屋上防水を中心とした定期改修が必要です。

配置図

スケジュール

施設	R8	R9	R10	R11	R12
健康増進センター (体育館)	集約化の検討 ⇒プロジェクトの進捗を 踏まえ、整理する。				移転 集約化 (廃止)
市民総合体育館 (管理棟)			設 計	内容 確認	↓ 長寿命化 改修

※R10以降のスケジュールについては、事前検討を踏まえ、改めて整理します。

再編効果

- 市民総合体育館の利活用促進
- 市民総合体育館の性能改善
- 集約による施設総量の適正化

(4) 再編プロジェクト以外の再編プラン

①再編プランNo.5 老人福祉センターの在り方の検討

概要

老人福祉センターは、これまで高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」の場としての大きな役割を担ってきました。

一方で、整備から50年以上が経過し、高齢者の生活様式の多様化に加え、地域包括ケアシステムが深化・推進されるなど環境が変化するとともに、市民ニーズも変化していることを踏まえ、今後の老人福祉センターの在り方を検討する時期となっています。

今後の検討にあたっては、必要となる老人福祉センター機能の維持を図るとともに、富士見市老人クラブ連合会や富士見市コミュニティ大学の活動等が、継続的に活動できる環境の確保に努めることで、高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」の場の発展を目指します。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
老人福祉センター	S48.3.31	52年	60年	RC造	1,520㎡

【施設の状況】

雨漏りや床の脱落など、老朽化が進行しており、標準使用年数まであと数年となっています。

案内図	<p>The map shows a geographical area with an orange outline. A dashed line with green dots connects four stations: 富士み野駅 (Fujinobori Station), 鶴瀬駅 (Tsurubori Station), みずほ台駅 (Mizuhodai Station), and 市役所本庁舎 (City Office Main Building). A yellow box labeled 老人福祉センター (Senior Welfare Center) is located near a blue area labeled (位置の参考) びん沼自然公園 (Binnumi Natural Park).</p>												
スケジュール	<table><tr><th>施設</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th></tr><tr><td>老人福祉センター</td><td>在り方の整理</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <p>※R9 以降のスケジュールについては、事前検討を踏まえ、改めて整理します。</p>	施設	R8	R9	R10	R11	R12	老人福祉センター	在り方の整理				
施設	R8	R9	R10	R11	R12								
老人福祉センター	在り方の整理												
再編効果	<ul style="list-style-type: none">●各種活動に適した環境の提供●高齢者の「生きがいづくり」や「健康づくり」の場の発展												

②再編プラン№.6 保育機能(第二保育所)の民間移行の検討

概要

第二保育所は、水谷地域を含めた周辺地域の保育ニーズを支えてきましたが、施設の老朽化が進んでおり、同地域における保育機能の維持について検討していく必要があります。

市内の保育ニーズに対しては、民間保育施設の誘致により対応している経緯もあることから、同地域においても民間活力の活用を視野に、民間保育施設等への段階的な移行を目指します。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
第二保育所	S46.11.1	54 年	40 年	LGS 造	449 ㎡

【施設の状況】

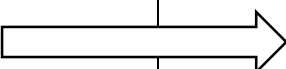

過去に改修工事を実施した経緯から、経過年数と比較して良好な状況を保っていますが、将来的に更新等の対策が必要です。

案内図

(位置の参考)
水谷中学校、水谷東小学校

第二保育所

スケジュール

施設	R8	R9	R10	R11	R12
第二保育所	事業者等との協議			民間移行準備	

※民間移行に際しては、十分な移行期間を設けることとします。

再編効果

- 民間保育施設等の整備による、安全で快適な環境の提供
- 市職員（保育士）の配置転換等による人的資源の効率的・効果的な活用

③再編プラン№.7 学校の再編(水谷小学校・水谷東小学校等エリア)の検討

概要

人口急増期に整備された学校施設では老朽化が進んでおり、今後も児童・生徒数の減少が続く見通しです。こうした状況を踏まえ、学校施設についても、再編を検討していく必要があります。

再編にあたっては、学区の見直しを含め幅広い選択肢を検討するため、複数校を1つの対象エリアとして設定し、エリア全体で検討を進めます。

学校は、まちづくりやコミュニティ形成の核となる重要な施設です。そのため、将来のまちの姿を見据え、地域の魅力向上につながるよう、児童・生徒をはじめ、地域の方々と意見交換を重ねながら進めていきます。

今回の計画期間における検討では、老朽化状況や児童数の推移を踏まえ、水谷小学校・水谷東小学校を中心に、みずほ台小学校、水谷中学校等を含むエリアを対象として、意見交換などを通じた方向性の検討を開始します。

また、第2期実行計画期間内において、検討を開始する学校再編に係るエリア設定に向け、検討を進めます。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
鶴瀬小学校※ ¹	S42.2.1	58年	60年	RC造	6,818㎡
水谷小学校	S44.5.1	56年	60年	RC造	7,535㎡
南畑小学校※ ¹	S56.8.1	44年	60年	RC造	4,506㎡
関沢小学校※ ¹	S44.5.1	56年	60年	RC造	7,278㎡
勝瀬小学校※ ¹	S46.6.1	54年	60年	RC造	7,967㎡
水谷東小学校	S48.11.1	52年	60年	RC造	7,158㎡
諏訪小学校	S50.4.1	50年	60年	RC造	7,992㎡
みずほ台小学校	S52.3.1	48年	60年	RC造	7,107㎡
針ヶ谷小学校	S59.4.1	41年	60年	RC造	5,294㎡
ふじみ野小学校	H11.3.1	26年	60年	RC造	8,614㎡
つるせ台小学校	H20.12.1	17年	60年	RC造	8,248㎡

(次頁へ続く)

対象施設	施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
	富士見台中学校 (体育館部分)	H2.3.1 (S58.3.1)	35 年 (42 年)	60 年	RC 造 (同上)	6,843 m ²
	本郷中学校※ ¹	S46.6.1	54 年	60 年	RC 造	6,511 m ²
	東中学校	S51.3.1	49 年	60 年	RC 造	6,425 m ²
	西中学校※ ¹	S54.4.1	46 年	60 年	RC 造	7,824 m ²
	勝瀬中学校※ ²	S55.4.1	45 年	60 年	RC 造	7,613 m ²
	水谷中学校※ ²	S58.7.1	42 年	60 年	RC 造	6,819 m ²
	富士見特別支援学校	S60.5.1	40 年	60 年	RC 造	5,090 m ²
	<div> <div></div> ※ 1 大規模改修工事実施 (10 年以内) <div></div> ※ 2 長寿命化改修工事実施 </div> <p>【施設の状況】</p> <p>○水谷小学校</p> <p>施設の老朽化が進行しており、将来の更新に向けた検討が必要です。</p> <p>また、児童数については、周辺地区の宅地開発により、大幅に増加しており、増築棟を整備し対応しました。</p> <p>○水谷東小学校</p> <p>施設の老朽化が進行しており、将来の更新に向けた検討が必要です。</p> <p>また、児童数については、大きく減少しており、1 年生から 4 年生まで各学年 1 学級となりました。</p> <p>○みずほ台小学校</p> <p>一部の棟で老朽化が進行しており、改修時期を迎えています。</p> <p>また、児童数については、増加傾向となっています。</p>					

<div>案内図</div>																										
<div>再編効果</div>	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒のより良い教育環境の確保 ●適切な施設機能（ハード）の確保 																									
<div>スケジュール</div>	<table> <tr> <th>施設</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th></tr> <tr> <td>水谷小学校</td><td colspan="5" rowspan="2">方向性の検討 (ワークショップ、懇談会等)</td></tr> <tr> <td>水谷東小学校</td></tr> <tr> <td>みずほ台小学校</td><td colspan="3"></td><td>設計 (長寿命化)</td><td></td></tr> <tr> <td>その他の学校</td><td colspan="5">第 2 期計画期間における再編エリアの設定検討</td></tr> </table> <p>※R11 以降のスケジュールについては、事前検討を踏まえ、改めて整理します。</p>	施設	R8	R9	R10	R11	R12	水谷小学校	方向性の検討 (ワークショップ、懇談会等)					水谷東小学校	みずほ台小学校				設計 (長寿命化)		その他の学校	第 2 期計画期間における再編エリアの設定検討				
施設	R8	R9	R10	R11	R12																					
水谷小学校	方向性の検討 (ワークショップ、懇談会等)																									
水谷東小学校																										
みずほ台小学校				設計 (長寿命化)																						
その他の学校	第 2 期計画期間における再編エリアの設定検討																									

④再編プラン№8 市立集会所の在り方の検討

概要

集会所は、地域コミュニティの核となる町会や地域まちづくり協議会の活動拠点として、整備を進めてきました。

このような中で、市立集会所についても、第 2 期（R13～R22）になると、老朽化の影響が顕在化することが想定されます。将来的な人口減少や市税収入等の減少などを踏まえた場合、公共施設マネジメントの観点からは、すべての施設を建替えや改修していくことは困難な状況です。

一方で、少子高齢化等の進展に伴い、町会を取り巻く環境は大きく変化しており、将来の町会の在り方を考える転換期を迎えています。


これらのことを踏まえ、町会活動の活性化や業務の効率化を図り、持続可能な運営を実現するため、デジタルツール等の活用の検討と併せ、町会活動の拠点として必要となる機能（ソフト）と、その機能を発揮するために必要となる建物（ハード）を整理し、その両側面から将来における市立集会所の在り方の検討をします。

対象施設

市立集会所名称	建築年月日	経過 年数 (R8.1 時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
丸池	S63.3.30	37 年	40 年	木造	164 m ²
渡戸東	H3.3.25	34 年	40 年	木造	152 m ²
山室	H28.3.31	9 年	40 年	木造	122 m ²
上沢 3 丁目	S59.3.19	41 年	40 年	LGS 造	99 m ²
水谷東 3 丁目	H31.3.28	6 年	60 年	S 造	197 m ²
水谷東 1 丁目	S60.3.31	40 年	40 年	LGS 造	99 m ²
渡戸 3 丁目	S61.3.20	39 年	40 年	木造	134 m ²
針ヶ谷	S61.3.31	39 年	60 年	RC 造	42 m ² (占有面積)
勝瀬	S62.3.31	38 年	40 年	木造	220 m ²
前谷	S63.3.30	37 年	40 年	木造	97 m ²
水谷第 1	S63.3.30	37 年	40 年	木造	151 m ²
関沢	H1.5.1	36 年	40 年	木造	169 m ²
勝瀬西	H1.5.1	36 年	40 年	木造	94 m ²


(次頁へ続く)

対象施設	市立集会所名称	建築年月日	経過 年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
	鶴馬 1 丁目	H2.3.1	35 年	60 年	RC 造	90 m ² (占有面積)
	打越	H4.3.25	33 年	40 年	木造	120 m ²
	鶴瀬西 3 丁目東	H4.9.8	33 年	60 年	RC 造	132 m ² (占有面積)
	鶴馬関沢	H5.3.29	32 年	40 年	木造	139 m ²
	上沢 1 丁目	H5.3.29	32 年	40 年	木造	140 m ²
	羽沢	H8.3.8	29 年	40 年	木造	170 m ²
	水谷第 2	H9.3.28	28 年	40 年	木造	171 m ²
	諏訪	H9.3.28	28 年	40 年	木造	135 m ²
	水谷第 3	H10.3.1	27 年	40 年	木造	169 m ²
	羽沢 2 丁目	H11.3.18	26 年	40 年	木造	121 m ²
	上沢 2 丁目	H13.3.19	24 年	40 年	木造	134 m ²
	鶴瀬西名シ久保	H16.3.1	21 年	40 年	木造	132 m ²
	鶴瀬東 2 丁目	H17.2.28	20 年	40 年	木造	134 m ²
	南畑第 2	H18.3.1	19 年	40 年	木造	112 m ²
	南畑第 3	H18.4.1	19 年	40 年	木造	127 m ²
<p>【施設の状況】</p> <p>多くの市立集会所について、再編や定期改修の検討が必要な時期を迎えています。 また、今後、標準使用年数を超過する施設が多くなる見込みです。</p>						

町会域及び市立集会所の配置													
スケジュール	<table><tr><th>施設名</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th></tr><tr><td>市立集会所 (市内 28 か所)</td><td colspan="4">意見交換 ↓ 集会所の在り方の作成 ↓ 集会所の在り方を踏まえ、 各集会所の再編スケジュール等の調整</td><td>再編プラン の作成 ↓ 第 2 期計 画へ反映</td></tr></table>	施設名	R8	R9	R10	R11	R12	市立集会所 (市内 28 か所)	意見交換 ↓ 集会所の在り方の作成 ↓ 集会所の在り方を踏まえ、 各集会所の再編スケジュール等の調整				再編プラン の作成 ↓ 第 2 期計 画へ反映
施設名	R8	R9	R10	R11	R12								
市立集会所 (市内 28 か所)	意見交換 ↓ 集会所の在り方の作成 ↓ 集会所の在り方を踏まえ、 各集会所の再編スケジュール等の調整				再編プラン の作成 ↓ 第 2 期計 画へ反映								
再編効果	●町会の拠点機能の維持												

⑤再編プラン№.9 出張所の在り方の検討

概要	<p>出張所は他の施設内に併設する形で、市内 6 か所に設置していますが、多くの施設で老朽化が進行しており、持続可能なサービス提供の方法について、今後検討していく必要があります。</p> <p>また、マイナンバーカードの普及やコンビニ交付の開始、納付環境の整備・拡充等、出張所を取り巻く環境はここ数年で大きく変化してきています。</p> <p>これらのことから、時代の潮流に合った利便性の高いサービスを、効率的かつ効果的に提供ができるよう、窓口サービス機能や体制の見直しを検討します。</p>																																															
対象施設	<table><thead><tr><th>施設</th><th>建築年月日</th><th>経過 年数 (R 8.1 時点)</th><th>標準 使用年数</th><th>構造</th><th>占有面積</th></tr></thead><tbody><tr><td>西出張所 (サンライトマンション内)</td><td>S54.12.24</td><td>46 年</td><td>—</td><td>SRC 造</td><td>59.5 m²</td></tr><tr><td>水谷出張所 (水谷公民館内)</td><td>S55.3.1</td><td>45 年</td><td>60 年</td><td>RC 造</td><td>51.7 m²</td></tr><tr><td>南畑出張所 (南畑公民館内)</td><td>S56.3.15</td><td>44 年</td><td>60 年</td><td>RC 造</td><td>24 m²</td></tr><tr><td>水谷東出張所 (水谷東公民館内)</td><td>S56.3.15</td><td>44 年</td><td>60 年</td><td>RC 造</td><td>27.8 m²</td></tr><tr><td>みずほ台出張所 (みずほ台コミュニティセンター内)</td><td>S58.1.1</td><td>43 年</td><td>60 年</td><td>RC 造</td><td>27.8 m² ⇒約 72 m²※</td></tr><tr><td>ふじみ野出張所 (ピアザふじみ内)</td><td>H27.3.16</td><td>10 年</td><td>60 年</td><td>S 造</td><td>130 m²</td></tr></tbody></table> <p>※スペースの拡充を予定（R 8 みずほ台コミュニティセンター長寿命化改修工事）</p> <p>【施設の状況】</p> <p>○西出張所</p> <p>西出張所がある東武鶴瀬西口サンライトマンションは、平成 30 年度に耐震診断を実施し、公共施設としての耐震基準を満たしていないことが判明したため、令和 3 年 4 月以降一時閉鎖しています。なお、再開には耐震改修が必要です。</p>						施設	建築年月日	経過 年数 (R 8.1 時点)	標準 使用年数	構造	占有面積	西出張所 (サンライトマンション内)	S54.12.24	46 年	—	SRC 造	59.5 m ²	水谷出張所 (水谷公民館内)	S55.3.1	45 年	60 年	RC 造	51.7 m ²	南畑出張所 (南畑公民館内)	S56.3.15	44 年	60 年	RC 造	24 m ²	水谷東出張所 (水谷東公民館内)	S56.3.15	44 年	60 年	RC 造	27.8 m ²	みずほ台出張所 (みずほ台コミュニティセンター内)	S58.1.1	43 年	60 年	RC 造	27.8 m ² ⇒約 72 m ² ※	ふじみ野出張所 (ピアザふじみ内)	H27.3.16	10 年	60 年	S 造	130 m ²
施設	建築年月日	経過 年数 (R 8.1 時点)	標準 使用年数	構造	占有面積																																											
西出張所 (サンライトマンション内)	S54.12.24	46 年	—	SRC 造	59.5 m ²																																											
水谷出張所 (水谷公民館内)	S55.3.1	45 年	60 年	RC 造	51.7 m ²																																											
南畑出張所 (南畑公民館内)	S56.3.15	44 年	60 年	RC 造	24 m ²																																											
水谷東出張所 (水谷東公民館内)	S56.3.15	44 年	60 年	RC 造	27.8 m ²																																											
みずほ台出張所 (みずほ台コミュニティセンター内)	S58.1.1	43 年	60 年	RC 造	27.8 m ² ⇒約 72 m ² ※																																											
ふじみ野出張所 (ピアザふじみ内)	H27.3.16	10 年	60 年	S 造	130 m ²																																											

	<p>○水谷出張所、水谷東出張所</p> <p>上記出張所がある各公民館は、将来的に標準使用年数を迎えるため、再編の検討が必要な時期を迎えます。</p> <p>○南畑出張所</p> <p>南畑出張所のある南畑公民館は、令和２年度に改修工事を実施したことから、良好な状態ですが、将来的に標準使用年数を迎えるため、再編の検討が必要な時期を迎えます。</p> <p>○みずほ台出張所</p> <p>みずほ台出張所があるみずほ台コミュニティセンターは、令和８年度の長寿命化改修により、待合スペースの確保等、利便性の向上に加え、標準使用年数以上の使用が可能となる予定です。</p> <p>○ふじみ野出張所</p> <p>ふじみ野出張所があるピアザふじみは、建設から１０年しか経過しておらず、標準使用年数まで相当な期間があります。</p>
市内出張所配置	

スケジュール	施設名	R8	R9	R10	R11	R12
	西出張所 (サンライトマンション内)	税証明のコンビニ交付 サービスの拡充など、 DX を推進 (R 9 以降も継続実施) ⇒利用状況の分析		出張所の在り方 の作成		
	水谷出張所 (水谷公民館内)					
	南畑出張所 (南畑公民館内)					
	水谷東出張所 (水谷東公民館内)					
	みずほ台出張所 (みずほ台コミュニティセンター内)					
	ふじみ野出張所 (ピアザふじみ内)					
※利用状況の推移によって、在り方作成の時期は前後します。						
再編効果	●持続可能なサービス提供の実現 ●時代のニーズに対応した利便性の高いサービスの提供					

⑥再編プラン№10 文化財整理室の再編の検討

概要

標準使用年数を超え、老朽化が進行している文化財整理室の更新にあたり南畑公民館とさらなる連携を図ることで、情報発信機能を強化できるよう、複合化が可能か検討します。

また、定期改修を予定している文化財収蔵庫（文化財整理室に隣接している施設）の事業の進捗を踏まえながら、検討を進めていきます。

対象施設

施設	建築年月日	経過年数 (R8.1時点)	標準 使用年数	構造	延床面積
文化財整理室	S48.3.31	52 年	40 年	LGS 造等	219 m ²
文化財収蔵庫	H15.9.1	22 年	40 年	LGS 造	397 m ²
南畑公民館	S56.3.15	44 年	60 年	RC 造	1,064 m ²

【施設の状況】

○文化財整理室

建設からの経過年数が標準使用年数を超過しています。

また、老朽化が進行し、雨漏り等が発生しており、更新の時期を迎えています。

○文化財収蔵庫

老朽化が進行し、雨漏りが発生しており、防水改修を中心とした定期改修が必要な時期を迎えています。

また、収蔵が必要な文化財は年々増加しており、新たな収蔵スペースの確保が必要です。

○南畑公民館

直近で改修工事を実施したことから、良好な状態ですが、将来的に標準使用年数を迎えるため、再編の検討が必要な時期を迎えます。

配置図																							
スケジュール	<table><tr><th>施設</th><th>R8</th><th>R9</th><th>R10</th><th>R11</th><th>R12</th></tr><tr><td>文化財整理室</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2" rowspan="2">再編プランの作成 ⇒第 2 期への反映</td></tr><tr><td>南畑公民館</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>文化財収蔵庫</td><td></td><td></td><td>設 計</td><td>大規模 改修</td><td></td></tr></table>	施設	R8	R9	R10	R11	R12	文化財整理室				再編プランの作成 ⇒第 2 期への反映		南畑公民館				文化財収蔵庫			設 計	大規模 改修	
施設	R8	R9	R10	R11	R12																		
文化財整理室				再編プランの作成 ⇒第 2 期への反映																			
南畑公民館																							
文化財収蔵庫			設 計	大規模 改修																			
再編効果	<ul style="list-style-type: none">● 公民館利用者等へ向けた情報発信機能の強化● 増加する文化財の適切な保管● 資料館機能の確保																						

4 施設の状況に応じた考え方

公共施設の「質」と「量」の最適化を目指し、より効率的・効果的な利活用を図るため、施設ごとの状況に応じて、以下の考え方に基づき検討を進めます。

(1) 新規施設等

新規施設を整備する場合、建築費に加え、修繕費、維持管理費、光熱水費、解体費などの様々な費用が発生します。建築費を除くこれらの費用は、建物の整備から解体までにかかる費用(ライフサイクルコスト¹)の 77%²を占めるといわれており、多額の費用が必要なことから、費用の精査を行うとともに、施設の必要性を併せて検討するほか、新規施設の整備以外の方法³で市民サービスを提供できないか検討し、方向性を整理することとします。

なお、新規施設の整備に当たっては、ライフサイクルコストの低減やカーボンニュートラル等を踏まえ検討することとします。

(2) 事業を完了する施設

事業を完了する施設については、これまでの役割を終えた施設であり、今後の最適な再編の具体的方策を検討することとします。

検討を開始する時期については、事業完了の目途が立った段階とし、検討する方策としては、主に余剰施設の処分、P P P / P F I の活用、施設の転用等を想定しています。

(3) 借地借家等の施設

借りている施設や区分所有の施設については、基本的に改修工事等を実施しておりませんが、賃借や維持管理に係る費用を踏まえ、市としての施設の在り方を検討することとします。

(4) 大規模な設備

学校の空調設備やプールなど大規模な施設に附随する設備については、多額のコストを要することから、本計画と整合を図り、計画的に対応していきます。

¹ L C C。施設の計画・設計から建築、維持、管理、解体撤去、廃棄にいたる費用。

² L C C 計算の床面積入力法における中規模事務庁舎の L C C 試算の内訳を参照。

参照元：「平成 31 年版建築物のライフサイクルコスト 第 2 版 国土交通省大臣官房官庁営繕部 監修(一般財団法人 建築保全センター)」

³ 新規施設の整備以外の方法とは既存施設の転用、P P P / P F I の活用、事業手法の変更等を想定しています。